

市の考えを問います

一般質問

10月20日 (4議員)

高木 正 (一問一答) 11 ページ

1. 行政運営の使命と責任とは
2. 行政課題の検証

鈴木 義浩 (一括後一問一答) 12 ページ

1. 行方市の将来像について

小野瀬 忠利 (一問一答) 12 ページ

1. 行方市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例
2. 教育行政

伊勢山 仙寿 (一問一答) 13 ページ

1. 人口動向
2. 北浦地域の将来像
3. 特定空家
4. 観光事業



高木 正 議員

10月21日 (4議員)

高橋 正信 (一括後一問一答) 13 ページ

1. 将来に希望の持てるまちづくり

宮崎 和洋 (一括後一問一答) 14 ページ

1. 高須敏美行市長の公約・実行プラン・重点ビジョンの確認

阿部 孝太郎 (一問一答) 14 ページ

1. 庁舎整備と新市建設計画
2. 子育て環境

小林 久 (一括後一問一答) 15 ページ

1. 選挙と現実行政
2. 農業政策

8名の議員が登壇し、執行部に対し方針等を問いました。紙面の内容は、質問・答弁共に議員自らが要約・執筆、寄稿したものを掲載しています。

問 **行政運営の使命と責任とは**
答 市長 市民本位の中で市民の生命と財産を守る事と認識しています。なめがた地域医療センターの機能回復、3庁舎体制の維持等の中での成果を上げることが重要です。

問 **行政上の使命と責任、運営指針を問う**
答 市長 市民本位というが、20年も多くの市民が要望し続けている生活道路の整備について、いまだに放置され続けていた事への対応を問う

問 **建設部長** 生活道路整備は、採択基準を設けて進めています。複合的、多様化する中での行政課題に対しては、市単独財政では限界がある。広域的取り組みが必要ではないか

答 市長 共同事業を増やすことで各市の負担を減らし、協力体制を強固にする必要があると考えます。

問 **行政運営の使命と責任とは**
答 市長 市民本位の中で市民の生命と財産を守る事と認識しています。なめがた地域医療センターの機能回復、3庁舎体制の維持等の中での成果を上げることが重要です。

問 **建設部長** 生活道路整備は、採択基準を設けて進めています。複合的、多様化する中での行政課題に対しては、市単独財政では限界がある。広域的取り組みが必要ではないか

答 市長 共同事業を増やすことで各市の負担を減らし、協力体制を強固にする必要があると考えます。

問 **行政運営の使命と責任とは**
答 市長 市民本位の中で市民の生命と財産を守る事と認識しています。なめがた地域医療センターの機能回復、3庁舎体制の維持等の中での成果を上げることが重要です。

問 **建設部長** 生活道路整備は、採択基準を設けて進めています。複合的、多様化する中での行政課題に対しては、市単独財政では限界がある。広域的取り組みが必要ではないか

答 市長 共同事業を増やすことで各市の負担を減らし、協力体制を強固にする必要があると考えます。

問 **行政運営の使命と責任とは**
答 市長 市民本位の中で市民の生命と財産を守る事と認識しています。なめがた地域医療センターの機能回復、3庁舎体制の維持等の中での成果を上げることが重要です。

問 **建設部長** 生活道路整備は、採択基準を設けて進めています。複合的、多様化する中での行政課題に対しては、市単独財政では限界がある。広域的取り組みが必要ではないか

答 市長 共同事業を増やすことで各市の負担を減らし、協力体制を強固にする必要があると考えます。

問 **行政運営の使命と責任とは**
答 市長 市民本位の中で市民の生命と財産を守る事と認識しています。なめがた地域医療センターの機能回復、3庁舎体制の維持等の中での成果を上げることが重要です。

問 **建設部長** 生活道路整備は、採択基準を設けて進めています。複合的、多様化する中での行政課題に対しては、市単独財政では限界がある。広域的取り組みが必要ではないか

答 市長 共同事業を増やすことで各市の負担を減らし、協力体制を強固にする必要があると考えます。



問 行方市の将来像について



鈴木 義浩 議員

問 庁舎及び類似施設の統廃合について

答 総務部長 庁舎建設については、公約を受ける庁舎体制の維持へ向け再検討を進める」とします。旧耐震基準で建設された北浦・玉造庁舎の耐震診断を早期に実施し、その結果を踏まえて、改修や活用の在り方を検討してまいります。また、現在の公共施設等総合管理計画では、新庁舎統合後に北浦・玉造庁舎を順次解体する方針としておりますが、令和8年度に予定している計画の改定がござります。この中では、財政負担の軽減を図るため、施設の有効活用や施設の複合化、再配置などについても見直しを行いまして、効率的かつ持続可能な公共施設の管理運用を今後目指してまいります。

問 合併特例債延長に伴う新市建設計画について

答 企画部長 令和7年度までの計画期間を令和12年度までに延長するため、茨城県と調整を行いながら変更計画（案）を作成していくところです。今後は、まちづくり協議会等の意見を伺い、市議会へ上程させていただき、計画が終了とならないよう年度内にご議決を賜りたいと考えております。

答 市長 早期に入院と1次救急の再開を目指し、将来的には現行の外来診療の拡充に加え、2次救急の再開などを目指していくべき得るということは、無理な話であると考えています。

問 教育行政

問 給食費の無償化について



小野瀬 忠利 議員

答 市長 令和8年度予算からは実施できるように市議会の皆様のご理解を賜りたいと考えます。

問 学力テストの結果を受けて傾向的なものはあったか

問 行方市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例

答 経済部長 現在まで指導要綱によって、これらの課題を解決するため、自分の考えを説明し表現する力をつけるために、授業トル以内の居住者、事業所の同意を得る必要性について

答 経済部長 現在まで指導要綱による地理的、地形的な要件を考慮しないで画一的な運用をしてきたところがありますが、今後、国による危険な盛土に関する法整備が進んだことなどから、近隣、県民の安全・安心の確保と適正な開発による発展が図れるよう、本条例と規則の運用に伴う指導要綱の改正に向けた検討を進めてまいります。

答 教育長 行方市小中学校教職員の働き方改革推進委員会において、具体的な協議、検討を進めているところです。

問 2学期制の導入に向けた取り組みはどの様な状況になつてている

答 教育長 知識・技能の定着と複数の情報を関連づけて考え、筋道を立てて理解する力が課題となつております。これらの課題を解決するため、自分の考えを説明し表現する力をつけるために、授業

改善の取り組みを重ねているところです。知識・技能につきましては、反復練習を伴うものですが、遊び直しであつたり、定着の時間を使つてしまつかりとした基礎的な知識・技能の定着について取り組んでいるところです。

△一般質問



伊勢山 仙寿 議員

人口動向

問 人口動向について。令和4年9件。令和5年44件。転入超過になっているが

答 企画部長 内閣府地方創生事務局のRESASで公表されてい

る、令和5年度行方市への転入元は、水戸市・鉾田市・鹿嶋市の順で多いです。人口増加の施策としては、データ、根拠に基づく政策が重要、まず作ってみて、取り組みを実施する、合っていない所があれば改善して進めて行く事が大事だと認識しております。

問 子育て世代の持ち家志向について

企画部長

市民意識調査に慣れ親しんだ地域に住み続けたいとの項目があるが、病院、医療体制であったり、子育て支援、公園遊び場等が今後求める重要な取り組みとして上がってきている。

そういうところを強化し、持ち家志向がある方に実際に住んでいただけるような取り組みを進めが必要性があると見ていています。

問 よくマスコミに登場するS町が、戸建等に月6万円の家賃を25年間支払うと土地建物が自己所有になると聞いたが

答 総務部長 市有地の調査、使

用可能性調査を実施しており、市長、副市長を中心に住宅供給ができる部分を検討します。インフラ環境も同時に考えながら、実施に向けてスピード感を持てる場所を優先的に今後考えていくべきと思っています。

将来に希望の持てるまちづくり

問 市長の言われているなめがた地域医療センターの整備について

は、病院の回復であり、入院、手術のできる病院を取り戻すという強いメッセージであります。そこで、現状を踏まえた、その裏づけとなるもの、エビデンスを伺いたい

答 市長 あれだけの病院機能がありながら、そこを諦めていいのかという思いで、訴えさせていた

だっています。エビデンスといいます。エビデンスといいます。私は行方市、さらには近隣市、県あるいは国、もちろんJA茨城県厚生連と、もう少し時間をかけて話し合い、活用方法や解決策を見いだしていきたいと思っています。

問 救急救命の回復ということで就任3年目にして、入院も手術も全て再開できると断言される。その再開までの手順、道筋を伺いたい

答 市長 手順等は、運営事業者との対話が基本でございますので、茨城県を含めて近隣市、運営事業者との協議の場を設けたいと申入れをさせていただきまし

た。3年目までの実現に向けて運営事業者のご意見を賜りたいと、その後、どのような側面支援等をすれば可能であるのか、全く的な配置を含めて難しいのかというのことを再度確認させて頂きたいと思います。

問 東関東自動車道水戸線全線開通。地域活性化に対する大きな扉が開かれようとしている。このよう

うな千載一遇のビッグチャンスに対して本市は、どのような受け入れ体制を整えているのか伺いたい

答 市長 インターチェンジを活用して、行方市内にお越しいただ

いて、観光・買物等していただ

ことになると思います。その核となるのが地域振興施設、いわゆる道の駅になるかと思います。地域の魅力を発信できる施設をつくり上げていきたいと考えています。また企業誘致によって人の住来、あるいは定住、移住につながっていけるよう職員の英知を結集して取り組んでいく必要があると考えています。

高須敏美行方市長の公約・
実行プラン・重点ビジョンの確認



宮寄 和洋 議員

- 問 「対話型」の市政の実現について具体的にどう動くのか
- 答 市長 市政懇談会、出前懇談会、市政報告会等、その他も検討させていただきます。
- 問 公約にあつたなめがた地域医療センターの段階的な回復はJA茨城県厚生連に了解は取れているのか
- 答 市長 私自身選挙前は、JA茨城県厚生連と接触したという機会はありません。公約というのをそういうものではないかなと思っています。
- 問 JA茨城県厚生連の了解はいつまでに取るのか
- 答 市長 現段階ではいつまでというようなことは考えておりません。
- 問 選挙後はJA茨城県厚生連と接触したのか
- 答 市長 選挙後に一度お会いしました。

- 問 耐震化診断の補正予算が否決された場合はどうするのか
- 答 市長 想定しづらいところであります。まず、3庁舎の耐震化診断を行います。
- 問 新庁舎建設の見通しおよび位置条例の白紙撤回はどうにするのか
- 答 市長 現段階では、私自身は位置条例について再上程は考えておりません。まず、3庁舎の耐震化診断を行います。
- 問 耐震化診断の補正予算が否決された場合はどうするのか
- 答 市長 想定しづらいところであります。まず、3庁舎の耐震化診断を行います。
- 問 いつまでに合併特例債の使い道を決めるのか
- 答 市長 新市建設計画及びそれに伴う財政計画を変更しなければならないので、遅くとも来年3月、令和8年第1回定例会の中で議決を賜りなくてはなりません。
- 問 合併から20年を迎える新市建設計画の検証と課題について
- 答 市長 持続可能な財政運営の中で、市民にとって必要な施策を選択的・重点的に推進し、人が暮らし、働き、未来に希望が持てるまちをつくるため、計画の見直しと改善を進めていく必要があると考えています。

○ 厅舎整備と新市建設計画



阿部 孝太郎 議員

- 問 分庁舎体制による行政運営と市民サービスの課題について
- 答 市長 市民から、どの庁舎に行けばよいのか分かりにくい、一度で手続きが完結しないとの声や、職員にとつても庁舎間の移動や調整に負担があつたことも事実です。こうした課題については、行政のデジタル化を強化し、市民の利便性と行政の効率化を図つてきたいと考えています。
- 問 なぜ消防団の操法大会が廃止できないのか
- 答 市長 消防団員の多くが操法大会を望まないのであれば、私は身はやめるということは可能だと思います。

- 問 本庁を一つ置いて、その周りの各庁舎（サテライト）を結ぶことは可能ではないのか
- 答 市長 玉造、北浦庁舎の耐震化診断した上で、更新せざるを得ない状況であれば、各地区に窓口を置きたいと思います。それぞれの庁舎を全部使うことを想定しているわけではなく、簡素なもので、市民の皆さんに窓口業務等で不便をおかけしないよう、オンラインシステムを使って業務を行い、市民サービスを低下させないことを第一の目的にやっていきたいと思います。
- 問 新市建設計画の改定に当たって、新庁舎の建設も可能な状態で策定していくのか
- 答 市長 新市建設計画の中で、庁舎については、新築や改築・更新も含めて、柔軟に対応できる状態にして、承認をいただく予定です。それらについては財政計画等を含めて、現在、県と協議をしています。

▷一般質問



小林 久 議員

選挙と現実行政

問 公約の実現、地域医療、庁舎
答 市長 公約の実現に向けた行政運営は、現実的な計画と着実な執行が不可欠である。一つ目、なめがた地域医療センター救急救命の回復。地域医療は「市民の命を守る」ための実現に向け、関係各位と連携を密にし段階的な病院機能の回復強化に努めます。二つ目、新庁舎建設の見直し。三庁舎体制を維持、耐震機能、老朽化対応を進め、安心して利用できる庁舎を確保すると共に、デジタル機能を強化し、効率的で利便性の高い市民により身近な行政サービスの実現を図ります。三つ目、子育てへの投資。財源の確保や法令等の整合など様々な課題が存在し、政策が必要となります。財源やスケジュールを明確にし、市民や市議会の納得のいく形で事業展開を図ります。

農業政策

問 イノシシ駆除
答 市長 イノシシの捕獲数は年々増加していますが、個体数の増加に捕獲が追いついていないのが現状で狩猟を取り巻く環境も高齢化や担い手確保が課題であり、主に活動している獣友会会員の確保は、市民の安全と暮らしを守る上で重要です。有害鳥獣生息拡大防止森林環境整備などの支援事業を行っています。

問 暑さ対策
答 市長 高温対策資材購入支援として、遮光ネット等の普及を促進、農産物への熱ストレス軽減や作業環境向上と熱中症対策を想定し支援しています。高温耐性米の普及支援として、生産者の収益確保と自給率の向上や安定供給による新規需要米といった多様な需要につながる支援をし、野菜についても高温耐性品種の普及検討を行っています。

本会議の内容を知りたい 「行方市議会 会議録検索システム」

本会議の内容は、なめがたエリアテレビや、インターネット録画中継でもご覧になれます。会議の公式記録は会議録となります。会議録は、インターネットにて全文を確認できます。

市議会ホームページで「会議録」を選択してください。



スマホで読める！議会だより デジタルブック配信しています

- 10言語で読みます。
- 音声読み上げもできます。
- 文字サイズを調整できます。

無料アプリ『カタポケ』
このアイコンが目印です。

